## 青嵐荘ケア・アシスタンス 職場環境等の改善にかかる取組

区分	内容	該当	当施設の具体的な内容
	①法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施	<b>V</b>	・法人、事業所のホームページや館内に掲示。
	策・仕組みなどの明確化		
	②事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	<b>V</b>	・法人にて採用研修等を開催。且つ委員会も発足している。
   入職促進に向けた			・事業所内でも随時採用者への研修を開催し、また委員会活
取組			動にて制度構築。
4又和1	③他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわ	<b>V</b>	・お仕事説明会等を開催し、資格や年齢、経験等問わず幅広
	らない幅広い採用の仕組みの構築(採用の実績でも可)		〈採用。
	④職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の		
	取組の実施		
	⑤働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援やより	<b>V</b>	・法人にて実務者研修受講支援の仕組みが整備されている。
	専門性の高い介護技術を取得しようとする者に取得しようとする者に対するユニ		・事業所内で各外部研修への参加推進内規あり。
次所のウトウナル	ットリーダー研修、ファーストステップ研修、各痰吸引、認知症ケア、サービス提		
資質の向上やキャリ スマップに向けたま	供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等		
アアップに向けた支援	⑥研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動		
1友	⑦エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度導入		
	⑧上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方等に関する	<b>V</b>	・人事考課制度を取り入れており、定期的な面接を行いフォロ
	定期的な相談の機会の確保		一、支援している。
両立支援·多様な 働き方の推進	⑨子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充	<b>V</b>	・法人にて育児・介護休暇制度あり。
	実、事業所内託児施設の整備		
	⑩職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職	<b>V</b>	・育児休暇や介護休暇が取りやすい環境整備あり。
	員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備		
	①有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標(例え		
	ば、1週間以上の休暇を年に●回取得、付与日数のうち●%以上を取得)を定		
	めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを		
	行っている		

	⑫有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人		
	化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている		
腰痛を含む心身の健康管理	③業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制	<b>V</b>	・法人内に心理士による相談会を設定している。
	の充実		
	④短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員の	<b>V</b>	・毎年ストレスチェックを実施。産業医にてフォローあり。
	ための休憩室の設置等健康管理対策の実施		
	⑤介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰	<b>√</b>	・腰痛予防対策委員会の設置等により、身体負担軽減のた
	痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施		め、腰痛予防対策のための研修会実施。
	⑥事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	<b>V</b>	・事故防止委員会にてマニュアル作成あり。
	⑦厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動	<b>V</b>	・生産性向上委員会を設置。
	の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)		
	を行っている		
	18現場の課題の見える化(課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施	<b>V</b>	・生産性向上委員会や安全衛生委員会などで適宜対応。
	等)を実施している		
	⑩5S 活動(業務管理の手法の 1 つ。整理·整頓·清掃·躾の頭文字をとったも		
	の)等の実践による職場環境の整備を行っている		
	②業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担	<b>√</b>	・各種マニュアルの作成済み。
生産性向上(業務	の軽減を行っている		
改善及び働く環境	②介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。)、情報端末(タブ	<b>V</b>	・介護ソフトを導入済み。
改善)の為の取組	レット端末、スマートフォン端末等)の導入		
	②介護ロボット(見守り支援、移乗支援、移動支援、排泄支援、入浴支援、介護		
	業務支援等)又はインカム等の職員間の連絡調整の迅速化に資する ICT 機器		
	(ビジネスチャットツール含む)の導入		
	②業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を		
	整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)		
	がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直し		
	やシフトの組み換え等を行う		
	②各種委員会の共同設置、各種指針・計画の共同策定、物品の共同購入等の		

	事務処理部門の集約、共同に行うICT インフラの整備、人事管理システムや福利厚生システム等の共通化等、協働化を通じた職場環境の改善に向けた取組		
	の実施		
やりがい・働きがいの 醸成	⑤ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職	<b>✓</b>	・介護員会議、運営会議、役職者会議など、各委員会で意見
	員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善		を吸い上げ、勤務環境整備やケア内容の改善に取り組んでい
			<b></b> వం
	⑥地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒		
	や住民との交流の実施		
	②利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会	<b>V</b>	・採用時研修、職員会議などで実施。
	の提供		
	窓ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の	<b>V</b>	・ケアプランへの意見徴収の際にご利用者、ご家族からの意見
	提供		をいただき、各セクションにて回覧し共有している。

令和7年3月